

令和5年度事業計画書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

1. 基本方針

2019年12月以降、中国湖北省武漢市を中心に発生し、短期間で全世界に感染拡大をもたらした新型コロナウイルス(COVID-19)は、今年に入りようやく出口が見えてきており、世間においては様々な規制緩和が進んでいる。ただ高齢者及び障害者施設においてのマスクの着用は義務から外れはしたものの、未だ推奨されており当事業所内においても未だマスクの着用、検温の実施、手洗い及び手指消毒の徹底、利用者帰宅後の室内及び送迎活用車両内の消毒等継続し行っている。(2023年4月現在)

その様な状況下「陸」に於いては2023年3月時点で登録利用者40名、男性15名、女性25名で年齢、障害特性が多様化している。また新年度に入り新規の利用登録者3名、相談者2名を受けており、今年度においても利用者の増加が見込める一方、利用者増加に伴う送迎車両の増車、また現存車両の劣化に伴う車両の買い替え、また移転先事業所内における利用者安全の確保等様々な課題が挙げられる。

また新しい移転先の環境を十分活かした作業の模索及び利用者に対する工賃向上への取り組みが事業所に課せられ、職員の意識向上が求められている。既存の受託企業との信頼関係の維持、新規作業内容の模索等取り組んでいくと併せSNS等を活用した事業所情報発信にも取り組んでいく。

また、障害者の社会活動を促進する事業として「視覚障害者の歩行訓練事業」も引き続き豊橋市より委託を受け継続し活動を取り組んでいき、視覚障害者にとって尚一層必要な社会資源としての構築を目指す。

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ア 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業
 - (ア) 就労継続支援(B型)事業

就労継続支援(B型)施設陸は、定款第3条に定める目的を達成するために、障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業を下記のとおり実施する。

	利用人員 (人)			利 用 料 (千円)			
	前年 a	本年 b	b-a	前年 c	本年 d	d-c	d/c (%)
4月	438	460	22	3,942	4,194	252	106.4
5月	384	414	30	3,459	3,782	323	109.3
6月	520	460	△ 60	4,675	4,197	△ 478	89.8
7月	477	506	29	4,298	4,629	331	107.7
8月	406	460	54	3,690	4,267	577	115.6
9月	494	483	△ 11	4,444	4,434	△ 10	99.8
10月	510	506	△ 4	4,626	4,567	△ 59	98.7
11月	510	506	△ 4	4,633	4,572	△ 61	98.7
12月	488	460	△ 28	4,424	4,150	△ 274	93.8
1月	465	460	△ 5	4,216	4,147	△ 69	98.4
2月	502	483	△ 19	4,559	4,360	△ 199	95.6
3月	578	483	△ 95	5,234	4,353	△ 881	83.2
計	5,772	5,681	△ 91	52,200	51,652	△ 548	99.0

- (1) 開所日数 247 日 (令和4年度＝247日)
- (2) 延利用日数 5,681 日 (令和4年度＝5,772日)
- (3) 1日平均延利用人員 23.0 人 (令和4年度＝23.3人)
- (4) 支出額 52,482,260 円 (イ就労支援事業を除く)
- (5) 収入額 59,550,124 円 (イ就労支援事業を除く)

指定障害福祉サービス内容の届出(令和5年度)

○ 令和5年度に介護給付等に係る算定を届け出たもの

- ・ 就労継続支援B型 サービス費(Ⅰ) 定員20人以下 611 単位 (令和4年度と変更なし)
平均工賃が1万5千円以上2万円未満
- ・ 福祉専門職員配置等加算 Ⅱ 10 単位 同上
- ・ 視覚・聴覚言語障害者支援体制加算 41 単位 同上
- ・ 目標工賃達成指導員配置加算 89 単位 同上
- ・ 重度支援体制加算(Ⅰ)イ. 利用定員が20人以下 56 単位 同上
- ・ 送迎加算 (片道) 21 単位 同上
- ・ 処遇改善加算Ⅲ 報酬総単位数 × 2.2 % 同上
- ・ 特定処遇改善加算Ⅰ 報酬総単位数 × 1.7 % 同上
- ・ ベースアップ支援 報酬総単位数 × 1.3 % (令和4年10月より)

- 地域区分の見直しによる1単位単価の変更 10.17 円 (変更なし)

(イ) 就労支援事業

就労支援の方針

「目標工賃達成指導員配置加算」の要件となる令和2年度から令和5年度工賃向上計画を策定し、計画に基づき業務・作業内容を見直しの作成及び計画に基づく業務・作業内容を実践する。株式会社鈴木ゴム商会との連携により、効率的な業務遂行により収益増を図ると共に、コロナ禍回復後におけるバザー開催等鑑みる。

○目標工賃の策定

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年間売上高	5,076,918 円	5,200,000 円	6,148,201 円	6,600,000 円
支払工賃総額	4,676,385 円	4,800,000 円	5,857,160 円	6,324,582 円
延人数	355 人	360 人	439 人	474 人
平均工賃月額	13,173 円	13,333 円	13,342 円	13,343 円
時間額(時間給)	282 円	290 円	291 円	292 円

(実績)

令和5年度

- | | | |
|----------|-------------|--------------------|
| (1) 開所日数 | 247 日 | (令和4年度=248日) |
| (2) 支出額 | 6,600,000 円 | (令和4年度=5,978,894円) |
| (3) 収入額 | 6,600,000 円 | (令和4年度=6,146,201円) |

イ

(ア) 令和5年度豊橋市視覚障害者歩行訓練事業

- | | | |
|-----------|----------------------|------------------|
| (1) 利用対象者 | 10 人 | (令和4年度= 6人) |
| (2) 利用回数 | 35 回 (1人10回を限度) | (令和4年度= 26回) |
| (3) 支出額 | 445,000 円 | (令和4年度=377,821円) |
| (4) 収入額 | 495,000 円 (歩行訓練士委託費) | (令和4年度=372,680円) |